

第 4 8 期

中 間 報 告 書

平成19年 3月16日から
平成19年 9月15日まで



株式会社 **スーパーステール**

株主の皆様へ

株式会社 ス ー パ ー ツ ー ル

代表取締役社長 吉 川 明

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成19年9月15日をもって、上半期を終了いたしましたのでその概況をご報告申し上げます。

営業の概況

当上半期におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景に設備投資の増加、雇用環境の改善など景気は引続き緩やかな拡大傾向で推移いたしました。一方世界的な需要拡大による原油・資源価格の高騰と諸資材コストの上昇、また米国経済に端を発する株価・為替の乱高下など不安材料も増えてまいりました。

当業界におきましては、諸資材コストの上昇という厳しい環境のなかで、建設機械・自動車・造船・航空機等の堅調な企業部門に牽引された設備投資の拡大、殊に工作機械の需要拡大に支えられ比較的順調に推移してまいりました。

このような状況のなかで、当社は継続的な企業体質の改善強化のため製品の差別化と品質向上に努め、常にコスト低減とモデルチェンジおよびニッチ分野製品の開発に注力してまいりました。また流通・顧客に対する営業力強化のため販売拠点の強化と積極的な販売促進活動を進めてまいりました。海外では新規ルートの開拓、海外展示会への積極的な出展等販売活動の拡大強化を実施してまいりました。

その結果、当中間期の売上高は2,628百万円（前年同期比4.0%増）となり、損益面につきましては、売上高の伸びおよびコストダウン等でより一層の利益率の向上に努めた結果、経常利益は425百万円（前年同期比35.2%増）となり、中間純利益は247百万円（前年同期比24.7%増）となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株につき8円とさせていただきます。

部門別の概略は次のとおりです。

[作業工具部門]

当部門のレンチ類は、海外需要の拡大と国内大都市圏の地価の復元による商業施設・マンション等の建設需要および海外市場への積極的な拡販により主力のラチェットレンチ類を牽引役に順調に推移しました。前年大きく伸長した空調配管工具類は春の天候不順、梅雨時の異常低温の影響で低迷しましたが、ブーラー類は機械設備整備関連で伸長をみました。その結果、作業工具部門の売上高は1,564百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

[産業機器部門]

当部門の治工具類は、前年新機種投入の効果で大きく伸長しましたが、当中間期は拡大した製品群の生産供給に追われ伸長させるに至りませんでした。一方吊クランプ類は、前年に引続き造船・建設機械・海外プラント建設等の需要拡大により国内・輸出ともに健闘し、またクレーン類は、新機種の拡充により売上げを伸長しました。その結果、産業機器部門の売上高は1,050百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

今後の見通しといたしましては、原油価格の高騰による原材料費の高止まりが長期化し、国内設備投資、機械受注に若干翳りが見え始め、また、米国経済が景気後退局面を迎えつつあることなど先行き不透明感が続くものと予想されます。当社の最終ユーザーに位置し堅調な成長を持続する輸出関連産業、殊に造船・建設機械・工作機械等の「モノ創り」産業に注力しニーズ・シーズの発掘と新製品・高付加価値製品の開発に販売経路の開拓深耕にと着実に拡大してまいります。下期は上期製品開発群の拡販と次年度開発製品の発掘期と位置づけ、国内外に技術者の派遣をしてまいります。原材料・部品価格の上昇や固定費の増加等の課題には、付加価値率の高い製品群や新製品等の調達供給体制および生産効率の更なる改善に努め、トータルコストの低減により利益目標の実現を果してまいります。今後も「攻めの構造改革」による継続的な企業体質の強化策を着実に実施してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒今後のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中間財務諸表

中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間期末	前中間期末	前 期 末
	(平成19年 9月15日現在)	(平成18年 9月15日現在)	(平成19年 3月15日現在)
	金 額	金 額	金 額
(資産の部)			
流動資産	3,507,054	3,573,310	3,354,042
現金及び預金	858,407	1,087,821	767,112
受取手形及び売掛金	739,368	684,350	685,246
たな卸資産	1,842,266	1,727,850	1,842,593
繰延税金資産	54,225	59,960	49,538
その他	12,787	13,512	9,550
貸倒引当金		185	
固定資産	5,907,995	5,912,727	5,943,575
有形固定資産	5,102,204	5,094,543	5,094,109
建物及び構築物	433,725	427,073	442,122
機械及び装置	385,860	376,481	376,263
土地	4,171,371	4,171,371	4,171,371
その他	111,246	119,616	104,351
無形固定資産	6,047	6,388	6,217
投資その他の資産	799,743	811,796	843,248
投資有価証券	520,355	531,280	583,112
繰延税金資産	132,248	133,821	114,984
その他	149,436	160,761	147,902
貸倒引当金	2,297	14,067	2,750
資 産 合 計	9,415,049	9,486,037	9,297,617

(注)有形固定資産の減価償却累計額 3,755,010千円

(単位：千円)

科 目	当中間期末	前中間期末	前 期 末
	(平成19年9月15日現在)	(平成18年9月15日現在)	(平成19年3月15日現在)
	金 額	金 額	金 額
(負債の部)			
流動負債	2,179,678	2,488,798	2,356,603
支払手形及び買掛金	550,350	606,792	625,633
短期借入金	978,672	1,095,380	1,012,680
1年内償還予定の社債	140,000	260,000	240,000
未払金	252,112	244,112	247,932
未払法人税等	190,130	158,281	164,702
賞与引当金	53,400	46,700	51,600
その他	15,012	77,531	14,055
固定負債	2,092,215	2,198,850	2,017,132
社債	100,000	240,000	120,000
長期借入金	312,754	241,792	226,202
土地再評価に係る繰延税金負債	1,359,280	1,359,280	1,359,280
退職給付引当金	280,481	318,078	271,950
その他	39,700	39,700	39,700
負債合計	4,271,894	4,687,649	4,373,735
(純資産の部)			
資本金	1,463,274	1,463,274	1,463,274
資本剰余金	461,697	428,484	429,079
利益剰余金	1,635,689	1,328,345	1,445,916
自己株式	65,772	88,329	82,824
評価・換算差額等	1,642,110	1,660,116	1,661,937
新株予約権	6,156	6,498	6,498
純資産合計	5,143,155	4,798,388	4,923,881
負債及び純資産合計	9,415,049	9,486,037	9,297,617

中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 中 間 期	前 中 間 期	前 期
	(自平成19年3月16日 至平成19年9月15日)	(自平成18年3月16日 至平成18年9月15日)	(自平成18年3月16日 至平成19年3月15日)
売上高	2,628,540	2,527,870	5,060,503
売上原価	1,698,010	1,692,394	3,391,571
売上総利益	930,530	835,475	1,668,932
販売費及び一般管理費	487,055	463,053	941,326
営業利益	443,474	372,421	727,606
営業外収益	40,791	10,100	20,749
営業外費用	58,938	67,954	123,547
経常利益	425,326	314,567	624,807
特別利益	470	24,640	24,843
特別損失	1,335	796	5,264
税引前中間(当期)純利益	424,461	338,412	644,386
法人税、住民税及び事業税	185,092	152,630	255,370
法人税等調整額	8,342	12,921	15,086
中間(当期)純利益	247,711	198,703	373,928

(注) 1株当たり中間(当期)純利益 当中間期 前中間期 前 期
29円73銭 24円39銭 45円53銭

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 中 間 期	前 中 間 期	前 期
	(自平成19年3月16日 至平成19年9月15日)	(自平成18年3月16日 至平成18年9月15日)	(自平成18年3月16日 至平成19年3月15日)
営業活動による キャッシュ・フロー	186,006	393,633	540,209
投資活動による キャッシュ・フロー	18,644	130,709	297,151
財務活動による キャッシュ・フロー	76,066	51,441	341,285
現金及び現金同等物の 増 減 額	91,294	211,481	98,227
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	767,112	865,339	865,339
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	858,407	1,076,821	767,112

中間株主資本等変動計算書

当中間期

(自平成19年3月16日
至平成19年9月15日)

(単位：千円)

科 目	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計
平成19年3月15日残高	1,463,274	429,079	1,445,916	82,824	3,255,446
中間会計期間中の変動額					
剰余金の配当			57,938		57,938
中間純利益			247,711		247,711
自己株式の取得				672	672
自己株式の処分		32,617		17,724	50,341
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の 変動額（純額）					
中間会計期間中の変動額合計		32,617	189,772	17,052	239,442
平成19年9月15日残高	1,463,274	461,697	1,635,689	65,772	3,494,888

科 目	評 価 ・ 換 算 差 額 等			新株予約権	純資産合計
	土地再評価 差 額 金	その他有価証券 評 価 差 額 金	評価・換算差額 等 合 計		
平成19年3月15日残高	1,656,505	5,432	1,661,937	6,498	4,923,881
中間会計期間中の変動額					
剰余金の配当					57,938
中間純利益					247,711
自己株式の取得					672
自己株式の処分					50,341
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の 変動額（純額）		19,827	19,827	342	20,169
中間会計期間中の変動額合計		19,827	19,827	342	219,273
平成19年9月15日残高	1,656,505	14,395	1,642,110	6,156	5,143,155

会社の概況（平成19年9月15日現在）

設立 昭和35年12月10日（創業 大正7年）

資本金 1,463,274,000円

主要な事業内容

(1) 作業工具・産業機器の製造・販売

部 門	製 品 群	主 要 製 品 名
作業工具部門	レンチ・スパナ・プライヤ類	ラチェットレンチ、めがねレンチ、モンキレンチ、シャコ万力、緊結金具、スナップリングプライヤ、グリッププライヤ、ウオータポンププライヤ、プライヤ、ペンチ、ソケットレンチ類、長ねじカッター、刃物工具
	配管工具類	スーパーカッター、パイプレンチ、ベルトレンチ、チューブカッター、パイプカッター、ベアリング入チューブカッター、チューブベンダー、チュービングツール、フレアリングツール、クイックフレアリング、ツバ出し工具、チューブリーマ、モーターレンチ、クイックレンチ、塩ビカッター、フレボリカッター、パイプ挿入機
	プ ー ラ ー 類	ギヤプーラ、パワープーラ、アマチュアベアリングプーラ、ベアリングプーラ、セパレータ、プッシュプーラ、ショックスピードプーラ、自動車用プーラ、スライドプーラ、油圧プーラ
産業機器部門	治 工 具 類	治具ブロック、治具プレート、平行台セット、精密バラレル、クランプングツール、クランプパーツ、スクリューサポート、油圧クランプ、切削式・転造式ローレットホルダー、ローレット駒、マイクログラインダー、超硬バー、バイトホルダー、ステッキホルダー、その他各種金具
	吊 ク ラ ン プ ・ ジ ブ ク レ ー ン 類	〔鋼材用〕 立吊クランプ、横吊クランプ、形鋼クランプ、スクリューカムクランプ、スーパーロックフック、吊フック、ドラムリフトクランプ、矢板抜クランプ、コラム吊クランプ、パイプクランプ、鉄筋立吊クランプ、ピームクランプ、各種天秤、コイル吊クランプ、その他特殊吊クランプ 〔コンクリート2次製品用〕 U字溝吊クランプ、間知ブロックまとも吊クランプ、各種コンクリート2次製品用吊クランプ 〔ハウジング用〕 パネル吊クランプ、木質梁専用吊クランプ、2×4パネル専用吊クランプ、ALCパネル・押出成形板吊クランプ 〔クレーン類〕 ジブクレーン（床固定式、柱取付式、移動式、移動伸縮式）、荷重センサー付クレーン、ポータブル門型クレーン、マルチクレーン、クリーンルーム仕様クレーン 〔天井走行型クレーン〕 天井走行フォークリフト型クレーン（ワークスパイダー）、天井走行型クレーン 壁面走行型クレーン、自在型フリークレーン、特殊クレーン

(2) 不動産賃貸事業

主要な事業所

本社・工場	〒599-8243	大阪府堺市中区見野山158番地
大阪支店	〒599-8243	大阪府堺市中区見野山158番地
東京支店	〒142-0041	東京都品川区戸越3 4 18
名古屋支店	〒460-0026	名古屋市中区伊勢山1 2 4
札幌営業所	〒003-0029	札幌市白石区平和通3丁目北4 20
新潟営業所	〒950-0855	新潟市東区江南2 6 2
福岡営業所	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南3 10 23

役員（平成19年9月15日現在）

代表取締役社長	吉川 明
専務取締役（管理本部長）	竈 和夫
取締役（経理部長）	篠畑 雅光
取締役（東部統括部長）	辰己 宏
取締役（西部統括部長）	大久保 勲
常勤監査役	松本 龍実
監査役	弓岡 隆巳
監査役	森田 茂

（注）監査役弓岡隆巳、森田 茂は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株 主 メ モ

事業年度	毎年3月16日から翌年3月15日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当 3月15日 中間配当 9月15日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続用紙のご請求は、次の三菱UFJ 信託銀行の電話およびインターネットでも24時間 承っております。 電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 方 法	電 子 公 告 ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子 公告による公告をすることができない場合は日本 経済新聞に掲載して行う。
単 元 株 式 数	1,000株